

かさじぞう①

がんばり
シール

おうちのかたへ
「かさじぞう」は北から南まで、日本各地に伝わる民話です。ページョン違いは数多くあるとされています。この場面では、おじいさんとおばあさんが貧しく、お正月のお餅も買えないことを読み取りましょう。

ある むらに、おじいさんと

おばあさんが いました。

あすは おしよがつですが、

ふたりは まずしくて、

おもちも かえません。

「かさを うって くるよ。」

おじいさんは、かさを

せおって でかけました。



おしよがつのため、かえないものは なんですか。

〔 〕に ○を かきましよう。

おもち



かさ



むら



さるかにがっせん①

がんばり
シール

おうちのかたへ

江戸時代から、子ども向けの本(赤本)として出版されてきました。すぐに食欲を満たせるおむすびと、勤労の末にようやく収穫できる柿の種が、象徴的に登場します。猿の本心が読み取れるとよいですね。

ある ひ、かにが

おむすびを ひろいました。

さるは かきの たねを

ひろいました。

さるは おむすびが

ほしく なりました。

「かにくん、かきの たねを

まくと、かきの みが

たくさん なるよ。

こうかんして やるよ。」

さるが いうので、

かには こうかんしました。

さるは おむすびを

むしゃむしゃ たべました。



かには さっそく、

かきの たねを まきました。

「はやく めを だせ、

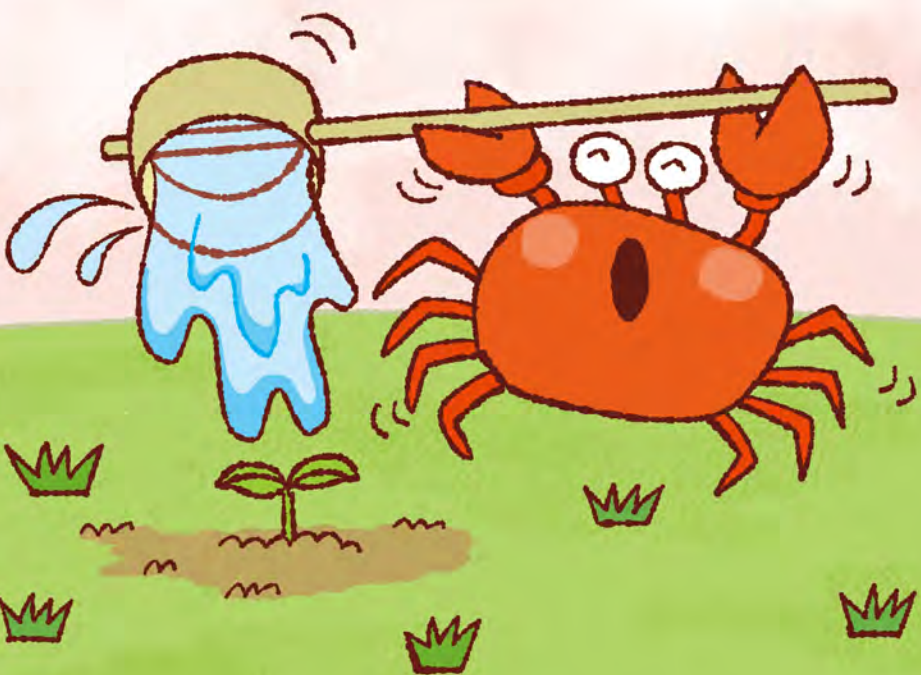
かきの たね。

ださなきや はさみで

ちよんぎるぞ。」

すると、かわいい めが

でて きました。



さるは、なぜ かきの たねと おむすびを こうかん
したのですか。〔 〕に ○を かきましよう。

〔 〕

かきの たねの
ほうが よいので、
かには あげよう
とおもったから。

〔 〕

いますぐ
たべられる、
おむすびが
ほしかったから。

〔 〕

かには
おむすびが
きれいだと
おもったから。



はなさかじいさん④

がんばり
シール

おうちのかたへ

ひどい目にあっても、怒らない優しいおじいさん。悲しみは大きかったと思いますが、枯れ木に花が咲くという見事な演出で、おじいさんの気持ちはポジティブな方向へ向かい、ストーリーも急展開します。

「へえ、ふしぎだなあ。」

やさしい おじいさんは、

ほかの きにも、はいを

まいて みました。

すると、きれいな はなが

さくでは ありませんか。

「はなさかじいさん、かれきに

はなを さかせましょう。」

やさしい おじいさんは、

そう いいながら、むらの

きに はいを まいて

いきました。

そこへ けらいを つれた

とのさまが とおりかかりました。



やさしい おじいさんが、
 とのさまの めの まえの
 おおきな さくらの かれきに
 はいを まくと、みごとな
 はなざかりと なりました。
 「これは すばらしい。」
 とのさまは、やさしい
 おじいさんに、たくさんの
 ごほうびを くれました。

やさしい おじいさんの いった ことは どれですか。
 あてはまる もの 2つに、○を かきましよう。

へえ、
 ふしぎだなあ。

はなさかじいさん、
 かれきに はなを
 さかせましよう。

これは
 すばらしい。

